

令和 5 年 6 月 23 日現在

機関番号： 82611
研究種目： 奨励研究
研究期間： 2022 ~ 2022
課題番号： 22H04020
研究課題名 親子相互交流療法の中断要因の解明と治療開始基準作成を目指したパイロット研究

研究代表者

高田 美希 (Takada, Miki)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター・精神保健研究所 知的・発達障害研究部・科研費研究員

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 480,000 円

研究成果の概要：本研究は養育者の養育スキルの向上や子どもの破壊的行動の減少に効果的であり、日本でも病院や児童相談所等で実施されている親子相互交流（Parent-Child Interaction Therapy；PCIT）の治療中断に関する要因を検討するために実施された。システムティックレビューにより、国内外で示唆されてきたPCITの中断率や中断要因が抽出した。養育者の心理状態等の養育者関連の要因と親子を取り巻く心理社会的要因の影響が示唆されたことから、養育者の心理評価や発達特性評価、子どもの発達特性評価や行動上の問題の評価、また、親子の関係評価を治療中に実施し、治療完遂・中断に影響する要因を検討した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究はPCITの最大の課題である中断率の高さを改善するために、システムティックレビューから治療中断に影響があると示唆された養育者の心理状態や発達特性、子どもの問題行動や発達特性、また親子の心理社会的要因を評価し、治療要因の特定を検討した。本邦ではこれまでに中断要因は明らかにされていないことから、他国・他文化との共通した中断要因や、日本特有の中断要因が明らかになることで、国際的な知見を広げることに留まらず日本での臨床においても学術的・社会的に意義があると考えられる。

研究分野：臨床心理学

キーワード：親子相互交流療法 PCIT 中断率 中断要因

1. 研究の目的

本研究は、児童虐待などの不適切な養育をする養育者や発達障害を持つ子どもに対しての養育などで困り感のある養育者に対し、児童相談所や医療機関などで幅広く実施されている、親子相互交流療法 (Parent-Child Interaction Therapy ; PCIT) の治療中断に関する要因を検討することを目的として実施された。

PCIT は、アメリカで開発された 2 歳～7 歳の破壊的行動のある子どもを対象とする親子行動療法であり、養育者の養育スキルの向上や子どもの行動上の問題の減少に効果的である一方で、治療の中断率が約 30%～80%とばらつきもあるが高い。国外では高い治療中断率を改善すべく、治療中断要因の検討研究などが実施されてきたが、社会/文化による差違も認められており、国内での治療中断要因は明らかになっていないことから、日本における治療中断要因の検討を試みた。

2. 研究成果

本研究は、養育者の養育スキルの向上や子どもの行動上の問題の減少に効果的である親子相互交流療法 (PCIT) の治療中断に関する要因を検討するために実施された。まず、国内外の文献から PCIT と中断率・中断要因に関するシステマティックレビューを実施し、これまでに示唆された中断要因の抽出を行った。その結果、養育者の心理状態などの養育者関連や、親子の心理社会的関連による影響があることが示唆された。

システマティックレビューに基づき、母親の心理評価・発達特性評価や、子どもの行動上の問題の評価・発達特性評価、また、親子のボンディングや親子の心理社会的状態の評価を、治療前に留まらず、治療経過においても評価した。より多くの親子の評価をするべく、愛育クリニック (東京都) でのデータ取得体制に加え、国立精神・神経医療研究センターでのデータ取得体制を確立し、データ取得を開始した。本研究に基づき、データ取得を継続することで、初期脱落、治療後期脱落の要因を更に明らかにしうると考えられる。

主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 高田美希 岡田俊
2. 発表標題 心理社会的プロフィールからみる親子相互交流療法（PCIT）の中断率への影響 - システマティックレビューに基づく検討 -
3. 学会等名 第63回日本児童青年精神医学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Miki Takada Takashi Okada
2. 発表標題 Parent-child Interaction Therapy (PCIT) - Clinical Interventions in Japan and Challenges of Managing Attrition -
3. 学会等名 Asian Consortium of National Mental Health Institutions
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Miki Takada
2. 発表標題 Language and cultural differences in PCIT - Insights from clinical practices and PCIT attrition studies -
3. 学会等名 Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Miki Takada Takashi Okada
2. 発表標題 Is There Any Difference in PCIT Attrition Rates Among Different Cultural Backgrounds? Insights From a Systematic Review
3. 学会等名 Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

研究組織（研究協力者）

氏名	ローマ字氏名
岡田 俊	(Okada Takashi)
小平 雅基	(Kodaira Masaki)
細金 奈奈	(Hosogane Nana)
木原 望美	(Kihara Nozomi)